ものづくり体験ができるワークショップ

まちやまでは、まちやま道具箱で借りられる道具について学び、その道具でものづくりをするワークショップをしています。12月は鋸とのみがテーマです。詳しくはまちやまのホームページをご覧ください。

まちやまホームページ

裏館小学校６年 高波 佳乃

道具をつくるときに職人は使ってもらいやすいように工夫していることが分かりました。手でとっても細かい作業をしてつくられていると聞いて、三条市の技術の高さを感じました。

一ノ木戸小学校４年 山上 翼

三条の道具はいろいろな国に輸出されているのがすごいと思いました。道具を使ってみて、思ったより難しかったです。鋸で切ったり、ねじをまっすぐ打つのが大変でした。

上林小学校６年 土田 夢乃

三条の道具を使えば、何でも作れるのがすごいと思いました。鋸は、２枚、３枚と切っていくうちに上手く切れるようになりました。思ったより良い作品ができました。

上林小学校４年 土田 潤

まちやま道具箱では、貸し出された道具が返却されるとすぐにまた借りられていくと聞き、それだけ三条の道具が人気だと感じました。道具を使い、たくさんの作業をして、良い作品を作ることができて良かったです。

大崎学園６年 川上 雲子

まちやま道具箱が始まり、たくさんの人が道具を身近に使えるようになったと感じました。初めて使う道具は難しかったけれど、慣れると楽しくなり、また使いたくなりました。

大崎学園４年 矢島 悠晴

ワークショップで話を聞いて、三条の道具はすごいと思いました。鋸の使い方や玄翁の力の入れ方が難しかったですが、鉋やのみは簡単に使えました。

一ノ木戸小学校５年 鳥羽 風花

鋸やドライバーは最初は難しかったけれど、繰り返すとうまく使えるようになりました。子どもから大人まで安全に使えるように工夫されていてすごいと思いました。また道具を使いたくなりました。

令和５年11月30日　発行

発行：三条市 総務部 政策推進課　〒955-8686 新潟県三条市旭町二丁目３番１号
☎0256-34-5523　メールseisaku@city.sanjo.niigata.jp